

特別企画

Special Edition

歯科のこの100年の歩みと今後の展望 —ICD100周年に向けて—

Progress in Dentistry During the Past 100 years and Future Prospects —For the 100th Anniversary of the ICD—

企画要旨

国際歯科学士会（International College of Dentists 以下ICD）は、来年2020年で設立100周年を迎えます。

設立の発起人は、当時の東京歯科大学学長 奥村鶴吉先生と米国シカゴ大学学長で後にシカゴ歯科医師会会長となった、Dr. Louis Ottofyです。

このICDは来る来年の2020年11月に名古屋にて、100周年記念祝賀会をICD国際大会として開催する予定です。国際会長に愛知学院大学歯学部教授の千田 彰先生が、来年11月より就任いたします。

そこで、長年歯科医学の現場において専門的なお立場で、教育・研究・診療に精励されてきた著名な先生方に原稿執筆頂こうとの運びとなりました。

主な内容とポイント

- 歯科医学教育制度の近代から現代へ —奥村鶴吉の足跡—
金子 譲
- 日本の近代歯科医学 —口中医から歯科医師への展開—
齋藤 毅
- 口腔衛生学の歩みと愉しみ
神原 正樹